



いずみ高校 News

進路特別号 2020.3.31

いずみ高校では、進学指導や就職指導にも力を入れています。
今年度の卒業生に、志望動機や合格理由・採用理由についてインタビューしました。
どの生徒も、充実した高校生活での体験をもとに見事希望の進路を実現しました。

中村優介くん（**生物生産科**卒業生・**農業大学校 路地栽培専攻**）

私は、高校入学前から農家をめざしていたためいずみ高校に入学しました。そして、さらなる知識や技術を身に付けるため、農業大学校を志望しました。私が合格できた理由は、将来農家をやっていくという目標に向かって、進路活動をすすめられたからだと思います。また、受験のためにしっかりと準備することができたことも合格できた理由だと思います。指定校推薦を得るために定期テストをしっかりとやることと、小論文対策を何回も書いて先生方に指導していただきました。最初は1時間以上かかって書いていましたが、練習の結果50分以内で書けるようになりました。また、面接では、質問に対する答えを用意しておかないといけないのでたくさん練習をしました。

大向将太くん（**生物生産科**卒業生・**株式会社コモディイイダ**）

私は、昔から人と話すことが好きでした。仕事もいろいろな人と話せる仕事に就きたいと考えていたので、コモディイイダを志望しました。採用された理由は、面接中も笑顔でいたことかと思っています。

小林光之介さん（**生物サイエンス科**卒業生・**帝京科学大学 生命環境学部**）

私は趣味で動物を飼っていて、飼育する中での失敗もたくさんありました。その経験を活かし将来は自分のように失敗している人の役に立てるような仕事に就きたいと考えました。そこで、基礎から専門的な分野で学べるこの大学を志望しました。私は入学した時から大学進学することを考えていたので、普段の定期テストは好成績を目指し、特に面接試験では自分がこの大学で学びたいと思う理由や意欲を明確に主張するように努力しました。

宮野和磨くん（**生物サイエンス科**卒業生・**三井金属鉱業株式会社**）

山岳部で登山をしているときに、電子機器の利便性に気付き、その製造に携わりたいと思うようになりました。その電子機器の基盤である銅箔を世界でもトップレベルで提供している三井金属工業を志望しました。また企業に受かるために、夏休み前から、面接やマナー、文書などの準備を始めました。特に面接練習を重点的に行いました。これらの準備に加えて、日常的に意識していた無遅刻・無欠席や、学生時代でしかできない部活動、委員会、校外活動を継続的に行っていたことで、面接時の発言に具体性が生まれ、自分の長所や人間性を企業に伝えることができたので採用されたと思います。

内田優舞さん（**生物資源化学科**卒業生・**上尾中央看護専門学校**）

私は幼少時の入院経験から看護師に憧れ、目指すようになりました。その国家資格を取るために選んだ学校が上尾中央看護専門学校です。この学校には習熟度別授業があり、自分の位置を確認することができるので、目標を明確にして取り組むことができる環境が整っていると思い、志望しました。私が合格できた理由として、失敗してもあきらめなかった気持ちだと思います。一度不合格になったからこそ、勉強の仕方を変えたり、自分の気持ちを再確認することができました。またその気持ちを面接官の方に伝えることが自己アピールになり、評価されるポイントだったと思います。この結果は自分1人の力だけでなく、先生のご指導があったからこそ合格につながりました。

横山千夏さん（**生物資源化学科**卒業生・**株式会社 文明堂東京**）

私はお菓子を食えると幸せに感じます。この気持ちを他の人にも共有してもらいたいと思い、菓子製造の仕事を希望しました。会社を調べていくと、文明堂東京ではお客様の幸せを第一に考え、一つ一つ

丁寧に手作業で製造していることを知り感動したため、志望しました。私が採用された理由は様々なことに積極的にチャレンジしたからだと思います。いずみ高校では委員長や副部長、資格取得などに進んで取り組みました。この経験が自分をアピールする材料になり、面接でも話題に困ることもなく、相手にいい印象を残すことができたと思います。

2019年度の主な進学合格先

東洋大学、日本大学、東京農業大学、文教大学、立正大学、目白大学、帝京科学大学、城西大学、日本工業大学、日本薬科大学、農業大学校、武蔵野調理師専門学校、大宮国際動物専門学校 など

2019年度の主な就職内定先

舟和本店、ロッテ、東京風月堂、文明堂、浅草今半、東京ひよ子、ヤオコー、千疋屋総本店、日本ホテル、さいたま造園、そごう・西武、日本郵便、シード、サイデン化学、YKKAP、中原建設、ユニオン建設、国土交通省関東整備局、桶川市役所 など

和泉深舟さん（環境デザイン科卒業生・東洋大学 文学部）

私が東洋大学を志望したのは、様々な進路に迷った結果、東洋大学が行っている哲学教育、文化や思想を学ぶということに興味や必要性を感じたためです。また私が受けた試験は特殊で、合格すると学費が半分免除されることに加え、昼間は大学の事務局で働けるため、自立した生活を送れるということにも魅力を感じました。私は進路が決まっていなかった一年生のころから、日頃の授業や考査をしっかり受けること、様々な経験を積極的に積むことを意識していました。自分の将来の選択肢をできる限り増やしておこうと思ったからです。当たり前のことではありますが、当たり前を当たり前によく習慣ができたことが最終的に合格できた理由だと思います。実際の試験対策としては、早いうちから準備を始めること、その大学についてよく調べること、なにより自分が本当にその大学に入りたいという強い思いを持つことが大切だと思います。

大島巧くん（環境デザイン科卒業生・オーセブン株式会社）

私は、環境デザイン科の授業内で特に設計・作図に興味を持ち、図面関係に携える職種を希望しました。また、授業実習の中で作庭や植栽施工の経験があることや、オーセブンのCADソフトの使用経験があることが、オーセブンでの職務に活かせると考え志望しました。私が採用された理由は、出題されたスケッチ対象物の特徴を確実に捉え、その特徴を上手くスケッチできたことと、面接で聞かれた質問に対し、当たり前障りのない嘘偽りのある受け答えではなく、自分の考えを正直に伝えたことだと思います。

近森美紅さん（環境サイエンス科卒業生・文教大学 教育学部）

私は音楽と子どもが大好きで、大好きな子供に大好きな音楽を教えることのできる小学校の音楽の先生になることが夢です。そこで、全国的にも高い小学校教員採用試験合格率を誇る文教大学を目指すことにしました。準備期間でつらい時期があっても、最後まであきらめずに努力をし続けて、応援してくれている周りへの感謝を忘れないことが合格へつながったのだと思います。また、試験合格のために努力したこの一年間は自分の人生において大きな価値のあるものであり、決して無駄にはならないと思うことで、心に余裕をもって試験対策をすることができました。

加藤理子さん（環境サイエンス科卒業生・イオンリテール株式会社）

私はもともと人と話すことが好きで接客業を選びました。その中でイオンリテールを先生に勧められ、私自身もとても身近に感じている企業だったため、そして環境問題に力を入れている企業なので少しでも学んだことを生かせればと思い志望しました。私が採用された大きな理由は、面接練習に力を入れたことで、当日自分の言いたいことをすべて話すことができて、いいところをアピールすることができたからだと思います。高校3年間で、部活・委員会・生徒会活動・資格取得と様々なことに挑戦したことも面接の話題になり、話が盛り上がりました。接客業のため笑顔でハキハキと話すことができたのが採用につながったと考えます。

吉野楓さん（環境建設科卒業生・駿河台大学 スポーツ科学部）

私が駿河台大学スポーツ科学科を志望した理由は、スポーツについてもっと深く知りたいと思ったと

ともに、将来、保健体育教員になりたいという夢があったからです。合格するために努力したことは、無欠席で3年間登校することと、評定平均を上げるよう頑張ったことです。定期考査の時に意欲的に勉強したり、ふだんの授業にも積極的に取り組むようにしました。

西見菜穂さん（環境建設科卒業生・桶川市役所）

私が桶川市役所（技術職）を志望した理由は、建設科で学んだ土木施工や測量の知識を生かした仕事をしたいと考えたためと、自分が現在取得している資格を生かせると考えたからです。私が採用された理由は、学校生活で、無遅刻無欠席であり、部活でも3年間続けて実績を残せて、勉強と部活を両立できた点だと思います。また、過去問を何度も解いたり、面接などの対策をきちんとやっていたからだと思います。